

令和5年度 浜松市立上阿多古小学校 学校評価報告書

I 自己評価

昨年12月の「学校評価アンケート」の結果を、下記のとおり報告します。

【調査対象】児童・保護者・教員 【選択肢】○大変よい ○よい ○やや不十分 ○不十分

【集約方法】・「大変よい」「よい」の割合…90%以上

・「大変よい」「よい」の割合…70%～90% 無色

・「大変よい」「よい」の割合…70%以下

(%)

1 「自ら学びに向かう子」

	児童	保護者	教員
学校での学習に進んで取り組んでいる。	100	100	100
友達や教師、他校の友達と関わったり調べたりしながら、課題を解決しようとしている。	94.4	88.9	100
学校は、少人数のよさを活かし、一人一人に合わせた授業をしている。	94.4	100	100
学校や家でよく読書をする。	77.8	50	66.7

2 「よりよい行動をとる子」

	児童	保護者	教員
毎日の生活の中で「なりたい自分（目標）」を思い描き、「今すべきこと（努力）」をしている。【キャリア教育】	100	83.3	83.3
互いの違いを認め、自分も友達も大切にしている。【学校いじめ防止基本方針】	100	100	100
相手の気持ちを考えて温かな言葉づかいをしている。	88.9	88.9	83.3

3 「進んで体を鍛える子」

	児童	保護者	教員
「早寝・早起き・朝ご飯」が身に付いている。	88.9	72.2	100
体育学習や体育行事（スポーツフェスティバル・かみラン）に進んで取り組んでいる	88.9	94.4	100
屋外へ出て元気に遊んだり活動したりしている。	94.4	83.3	100

4 「ふるさと上阿多古を大切にする子」

	児童	保護者	教員
家庭や地域の行事に進んで参加している。	100	100	100
家族や地域の人に進んであいさつをしている。	88.9	83.3	83.3
家族や地域の人の手伝いを進んでしている。	94.4	100	100
地域の人や自然と関わる活動（全校遠足・地域探検・クラブ活動など）に、楽しんで取り組んでいる。	94.4	94.4	100

5 学校への御意見・御要望

- ・来年度からは児童数減少となりさびしくなりますが、変わらずに充実した学校生活が送れたら良いと思います。
- ・丁寧に見ていただけること、本当にありがたいです。
- ・6年度も、同じような教育活動をしていただけたらうれしいです。
- ・手厚く見ていただいて感謝するばかりです。いつもありがとうございます。
- ・連合でのかわりの時間をより充実させて、集団生活や集団遊びを経験して、心を育ててほしい。
- ・中学入学に向けて気持ちを整え、新しい生活を楽しんでいけたらいいなと思います。

6 学校から

○児童の自己評価は、多くの項目で「大変よい」「よい」が9割を超えていた。目指す子供像に近づけるよう、取り組んできた成果と言える。

○「学校や家でよく読書をする」については、高学年の評価が、保護者、児童共に低い評価となった。学校では、週2回の朝読書の時間や、週末の本の持ち帰りを続けている。また、今年度、読書週間に合わせて「親子読書」を実施し好評だったので、次年度も継続し、本に親しむ取り組みを進めていきたい。

○「学校いじめ防止基本方針」への取り組み、「互いの違いを認め、自分も友達も大切にしている」について、児童、保護者、教員共に100%の評価となったことは、上阿多古という地域の特性や、御家庭での声掛け、これまでに培われてきた温かな学校風土によるものと考ええる。「温かな言葉遣い」の評価が、もう一段上がるよう、今後も努力をしていく。

○「早寝・早起き・朝ご飯」については、高学年を中心に就寝時間が遅くなる傾向があることから、評価が下がっていると考えられる。毎月の保健指導等を活用し、早寝の大切さを伝えていく。

○「ふるさと上阿多古を大切にする子」については、3つの項目で9割を超えており、地域、保護者の皆様の協力体制がよい結果につながっていることがうかがえる。また、学校でも「地域の人や自然と関わる活動」には、今後も力を入れていく。

Ⅱ 学校関係者評価

2月20日（火）に開催した学校運営協議会において、自校評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員は、以下のような質疑を行った。

○「屋外へ出て元気に遊んだり活動したりしている。」の評価が低かった家庭は、家でゲームをしているということか。対象児童が18人なので、ゲームをしているのはほんの数人ということだろう。

→評価の低かった人数は3人。昼休みはドッジボールやおにごっこなどで遊んでいる子が多い。

○読書の評価が低い家庭もあるが、高学年はゲームに時間をとられているか。

→高学年は習い事（スポーツ少年団）で放課後の時間を取られている子たちがいるので、その影響がある。

○いじめ防止への取り組みは、具体的にはどのような対応をしているのか。

→日々の観察に加え、毎月のアンケートやそれに伴う面談等を活用し、早期発見に努めている。いじめの疑いを認知した場合、即時対応し、双方の家庭へも連絡している。

○保護者の立場からは、いじめ等に十分に対応してもらっていると感じている。保護者が学校の対応について理解をしてくれていることがよい。

○何かあった時に、子供が親に言える、親は学校に言える、そういう関係ができているのがよい。

Ⅲ 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について再確認した。

○「大変よい」「よい」という評価をたくさんいただいたが、次年度も目標達成に向けて、全職員で共通理解を図り教育活動に取り組んでいきたい。

○学校運営協議会委員のいじめ防止への関心が高かった。今後も、一人一人の児童を大切に、保護者、地域との信頼関係を維持していきたい。

○来年度、児童数も実家庭数も大きく減るため、これまで以上に地域との連携を図り、学校での取り組みを家庭や地域に知らせていきたい。